

令和7年4月10日
公益社団法人
国土緑化推進機構

第34回「みどりの文化賞」受賞者の決定について

公益社団法人国土緑化推進機構は、第34回「みどりの文化賞」受賞者を以下のとおり決定いたしました。

「みどりの文化賞」の表彰は、令和7年5月10日（土）、イイノホールで開催する第34回森と花の祭典「みどりの感謝祭」式典において行います。

「みどりの文化賞」受賞者には、

ア みどりの感謝祭名誉総裁（皇族殿下）の表彰状

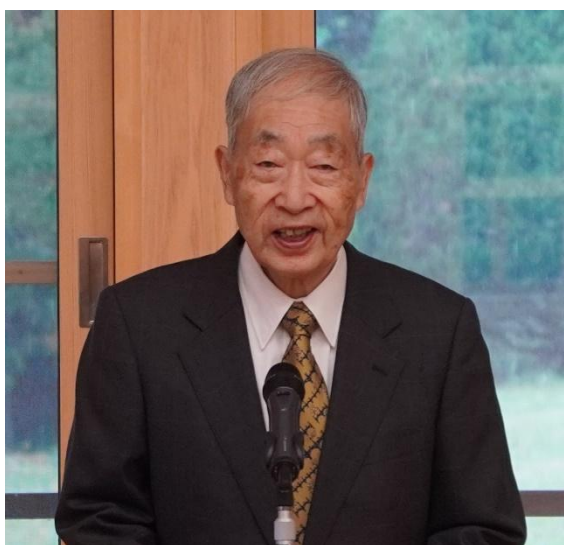
イ 公益社団法人国土緑化推進機構会長の賞牌・副賞
が授与されます。

受 賞 者 おおた たけひこ
太 田 猛 彦 氏
(東京大学 名誉教授)

問合わせ先： 公益社団法人国土緑化推進機構 担当： 吉 永 電話 3 2 6 2 - 8 4 5 7
--

第 34 回みどりの文化賞

～森林・林業のあるべき姿を市民目線で伝え続ける～



(受賞者)

おお た たけ ひこ
太 田 猛 彦 (83 歳)

(東京大学名誉教授)

- 1 太田猛彦氏は、昭和 16 年に東京都で生まれ、昭和 53 年に東京大学大学院農学系研究科を修了して農学博士を取得した。東京農工大学、東京大学、東京農業大学において約 40 年間にわたって教鞭をとり、研究・教育活動に尽力してきた。また、砂防学会長、日本森林学会長、日本緑化工学会長、日本学術会議会員など学術関係のほか、国（農林水産省）の林政審議会委員や東京都の森林審議会会長など行政関係の要職を歴任し、現在も FSC ジャパン（森林管理協議会）代表、みえ森林・林業アカデミー名誉学長、かわさき市民アカデミー理事長、さいたま緑のトラスト協会理事長などとして精力的な活動をしている。
- 2 太田氏の業績と活動で特筆されるのは、専門である治山・砂防学及び森林水文学をベースにして、海岸防災林の再生や気候危機下の新たな土砂災害対策の方向性を示したほか、森林・林業問題について時間的・空間的に極めて幅広い視野で捉え直し、今後のあるべき姿を考究し続けていることである。地球史や人類史を踏まえた上で、現代文明や経済・社会の本質に迫り、持続可能な低炭素・自然共生社会の構築に向けた道筋を描き出し、提言を続けている。
- 3 提言の実現に向けた普及活動では、学界や経済界にとどまらず、市民アカデミーの講

師などとして一般市民・消費者らとも積極的に交流と対話を重ね、最新の知見を市民目線でわかりやすく伝え続けているほか、著書「森林飽和 国土の変貌を考える」（平成24年 NHK 出版）においては、日本人と森林の関係史を整理し、数百年に渡る森林劣化の時代があったこと、現在は「森林飽和」と言えるほどに森林が豊かであることなどを解説。現代の日本の森林についての正しい理解を促進しており、余人を持って代え難い存在と言える。

こうした太田氏の様々な功績や現在も継続している精力的な活動は高く評価されるものである。

（受賞歴）

令和 元 年 川崎市文化賞
平成26年 治山事業100周年記念治山功績者農林水産大臣賞
平成25年 本多静六賞（埼玉県）
平成25年 日本緑化工学会功績賞
平成25年 水文・水資源学会功績賞
平成12年 赤木賞（砂防学会） など

（主な著書・共著書）

「ダムと緑のダム 狂暴化する水災害に挑む流域マネジメント」監修

（令和元年 日経 BP 社）

「緑のダムの科学 減災・森林・水循環」分担執筆（平成26年 築地書館）

「森林飽和 国土の変貌を考える」（平成24年 NHK 出版）

「農林水産業の技術者倫理」編著（平成18年 農山漁村文化協会）

「森林の機能と評価」分担執筆（平成17年 日本林業調査会）

「宮川環境読本」編著（平成17年 東京農大出版会）

「森と水と土の本」（平成16年 ポプラ社）

「森のユニバーサルデザイン」監修（平成13年 日本林業調査会）

「溪流生態砂防学」編著 （平成11年 東京大学出版会）

「水と土をはぐくむ森」（平成8年 文研出版）

「洪水の数値予報」共著（平成元年 森北出版） など

(参考)

みどりの文化賞の概要

1 概要

平成2年、国民の祝日「みどりの日」が制定されたことを記念し、緑豊かな国土と新しい森林文化の創造に役立てるため、緑や森林に関して顕著な功績のあった者（個人または団体）を顕彰する「みどりの文化賞」を創設しました。

その後、東日本大震災の影響により平成23年と、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年に中止したほかは、毎年「みどりの感謝祭式典」において表彰してきています。

2 選考方法

幅広い分野の学識経験者等で構成する「みどりの文化賞選考委員会」において、選考基準を定めています。

選考基準に基づき、広く学識経験者等から顕著な功績のあった者の推薦を受け、選考委員会において「みどりの文化賞」にふさわしい者を審査・選考し、受賞者を決定しています。

3 表彰

「みどりの月間」中に開催される「みどりの感謝祭」の式典において表彰します。

みどりの文化賞受賞者には、

- ① みどりの感謝祭名誉総裁名（皇族殿下）の表彰状
- ② 国土緑化推進機構会長（衆議院議長）の賞牌及び副賞

が授与されます。

4 今後のスケジュール

4月中旬 プレスリリース

5月10日（土） 表彰式（みどりの感謝祭式典・イイノホール）（予定）

みどりの文化賞選考委員

(五十音順：敬称略)

青 山 佳 世	フリーアナウンサー
飯 塚 帆 南	2016年度ミス日本みどりの女神、みどりの広報大使 UNIVERSITY of CREATIVITYグローバルプロデューサー
今 井 通 子	国際自然・森林医学会会長 東京農業大学客員教授
倉 本 聰	脚本家 NPO法人富良野自然塾塾長
島 田 泰 助	一般社団法人日本林業協会 会長
末 綱 隆	元東宮侍従長
丹 下 健	東京大学 特命教授
永 田 信	公益社団法人大日本山林会 会長
滑志田 隆	毎日新聞社 終身名誉職員

「みどりの文化賞」のこれまでの受賞者

- 第1回 戦後の森林造成と国土緑化
(受賞者) 徳川宗敬 氏 (故人への顕彰)
- 第2回 木の文化の継承、発展に貢献した者
(受賞者) 西岡 常一 氏
- 第3回 森林と水との関わりを社会にひろめる
(受賞者) 財団法人 水利科学研究所
- 第4回 森林と水の守り手、山村を支える
(受賞者) 黒澤 丈夫 氏 (個人 群馬県上野村長)
- 第5回 森林と水の守り手、山村を支える
(受賞者) 宮崎県諸塚村
- 第6回 ボランティア活動による森林づくり
(受賞者) 草刈り十字軍
- 第7回 持続的森林経営をめざす森林づくり
(受賞者) 高橋 延清 氏
- 第8回 大都会のなかでの自然豊かな森林づくり
(受賞者) 明治神宮の森
- 第9回 海を蘇らせた森林づくり
(受賞者) えりも岬の緑を守る会
- 第10回 「森林文化」の新たな展開
(受賞者) 筒井 迪夫 氏
- 第11回 民間公益団体による緑化活動支援
(受賞者) ゴルファーの緑化促進協力会 (GGG)

第12回 上下流の協力による森林づくり
(受賞者) (財) 矢作川水源基金

第13回 国際緑化活動の推進
(受賞者) 神足 勝浩 氏

第14回 地方自治による山村活性化への取り組み
(受賞者) 松形 祐堯 氏

第15回 国民参加の森林づくり運動の推進
(受賞者) 高木 文雄 氏

第16回 民間団体等による「国民参加の森林づくり」運動支援
(受賞者) 株式会社 ローソン (ローソン緑の募金)

第17回 森林を活かし、木の文化の伝承に貢献した者
(受賞者) 小原 二郎 氏

第18回 森林文化を未来に引き継ぐ森林管理
(受賞者) 神宮司庁営林部 (伊勢神宮宮域林)

第19回 民間団体による国際緑化活動の推進
(受賞者) (財) オイスカ

第20回 森林と人との豊かな関わりを目指して
(受賞者) 北村 昌美 氏

第21回 伝統の技が生み出す木の文化
(受賞者) 田中 文男 氏

第22回 「水と緑と土」は、豊かな自然の原点
(受賞者) 富山 和子 氏

さくらは日本のシンボル～大震災からの復興の励みに～
(受賞者) 佐野 藤右衛門 氏

第23回 日本の山から明るく豊かな展望の到来を願って

(受賞者) 島崎 洋路 氏

第24回 「森林(もり)森林の力を地域の力に」の実現を目指して

(受賞者) 中越 武義 氏(個人 元高知県梶原村長)

第25回 「森は海の恋人」運動の実践を通じ豊かな日本の未来を目指して

(受賞者) 畠山 重篤 氏

第26回 「森の再生」と「心の再生」－豊かな森が持つ可能性を信じて－

(受賞者) C. W. ニコル 氏

地域資源とその機能を最大限に活用した地方創生

(受賞者) 岩手県 葛巻町

第27回 再生産可能な未来のエネルギーの礎を築く

－木質バイオマス利用と農山村の振興への願いを込めて

(受賞者) 熊崎 実 氏

第28回 森が育む幼児の力

(受賞者) 佐藤 清太郎 氏

NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟

第29回 森林科学の未来を拓く

(受賞者) 木平 勇吉 氏

第30回 私は森林の案内人

(受賞者) 田中 惣次 氏

第31回 市民・女性の視点で森林づくりを広める

(受賞者) 池谷 キワ子 氏

第32回 市民参加による森林づくりを支える

(受賞者) NPO法人森づくりフォーラム

第 3 3 回 失われゆく木の文化・技術を「聞き書き」に残す
(受賞者) 塩野 米松 氏